

公表

事業所における自己評価総括表

○事業所名	こどもプラス三日月教室		
○保護者評価実施期間	令和7年2月15日 ～ 令和7年3月10日		
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	24件	(回答者数) 22件
○従業者評価実施期間	令和7年2月10日 ～ 令和7年2月28日		
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	7名	(回答者数) 7名
○事業者向け自己評価表作成日	令和7年3月17日		

○ 分析結果

	事業所の強み（※）だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的にやっている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	機器を使わず、自分達で考えて遊ぶ。	お散歩や公園に行って、季節を感じる。 自分達で考える事で想像力を働かせた活動。 教室の道具で遊びたい物が無ければ、自分で作って遊ぶ。 (余暇時間での活動も自分で考えられるようになる。ある物で遊ぶことができるようになる)	段ボールや空き箱等を増やす。 ブロック等を増やす。 指先を使った道具を増やす。
2	子ども同士の関りが多い。	集団活動を多く取り入れ、みんなで一緒に活動できるようにしている。(どこかへ行く時にも、必ずみんなで出かける、みんなで同じ空間にいる) トラブルがあった時には、前向きにとらえている。	地域の行事に参加させてもらい、周りの子どもとの関りができるようにしていく。
3			

	事業所の弱み（※）だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	集団活動を重視し過ぎている。	集団活動を苦手としている児童に対しての関り。	周りの友達と遊ぶ事の楽しさを知ってもらう為に、小集団での活動をもっと取り入れていく。(ペアでの活動を取り入れる)
2	思いっきり遊んでいる為、言葉の使い方等が荒くなってしまう。 集団活動の際は接触してしまい、その時のコンディションもあるが、トラブルは多いと思われる。	知らないで使っている言葉が多くある。 ストレスが溜まっている。 思いっきり遊び過ぎてしまう。 力加減が難しい。	その都度、伝え続けていくようにする。 相手の思いや自分の思いを、代弁して伝える。 トラブルがあった時には、前向きにとらえる。 ボールなどを使って力の使い方の学習をする。
3			